

その炎は生き続ける—

# ちりめんやの はなし

—四百年の旅人—

第24回 石橋満山記念  
早稲田ジャーナリズム大賞  
文化貢献部門 奨励賞

十五代 沈壽官 十五代 坂倉新兵衛 十二代 渡仁 ほか 語り：小林薫

監督：松倉大夏

企画・プロデュース：李鳳宇 / 撮影：辻智彦、加藤孝信 / 録音：菅沼緯馳郎、藤田秀成

編集：平野一樹 / 編集助手：七宝治輝 / アニメーション：小川泉 / 音楽：李東峻

聲音：吉方淳二 / カラーグレーディング：俵謙太 / 宣伝美術：李潤希 / プロデューサー：長岐真裕

特別協賛：株式会社アエニス、Asia Square Japan Center、大韓航空、財団法人李熙健韓日交流財団 助成：文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業 [AFF2](#)

企画・製作：韓国・SBS、配給：マンターズエンターテインメント 2023年/日本/日本語・韓国語/カラー/DCP

©2023 Suuuno Inc. All Rights Reserved.



豊臣秀吉の二度目の朝鮮出兵の際に、主に西日本の諸大名は各藩に朝鮮人陶工を連れ帰った。薩摩焼、萩焼、上野焼等は朝鮮をルーツに持ち、今もなおその伝統を受け継いでいる。薩摩の地では、島津家が朝鮮陶工たちを厚く庇護をして苗代川という地に住ませた。その中に沈壽官家の初代となる沈当吉がいた。以来、沈壽官家は研鑽を重ね、多彩な陶技を尽くした名品の数々を世に送り出し、世界中に“SATSUMA”の名が広がった。

幼少期に経験した言われなき偏見や差別の中で、日本人の定義とは何かと自身のアイデンティティに悩んだ十五代沈壽官を救った司馬遼太郎の至宝の言葉。その十五代沈壽官が修業時代を過ごした韓国・利川にあるキムチ甕工房の家族は、十五代から学んだ伝統を守る意義を語る。沈壽官家の薩摩焼四百年祭への願い。そして、十二代渡仁が父から受け継いだ果たすべき使命。十五代坂倉新兵衛が語る父との記憶と次代への想いとは…。

朝鮮をルーツに持つ陶工たち、その周囲の人々のはなしが交差し、いま見つめ直すべき日本と韓国の陶芸文化の交わりの歴史、そして伝統の〈継承〉とは何かが浮かび上がる。



民族とは何なのか、家族とは何なのか、人はどう生きればいいのか。そんな問いが、観る者の心を揺さぶります。—杉山享司 (キュレーター)

民族の精神はここまで進化しうるのかと感動した。国を超えた、魂の根幹を描いた作品だ。—梨木香歩 (作家 / 「西の魔女が死んだ」「裏庭」)

400年以上に亘って受け継がれてきた技と知恵の灯<sup>ともじひ</sup>を絶やさぬよう、これからも地域に根差したものづくりにお努めください。—千宗室 (茶道裏千家家元)

さつま芋やさつま揚げと同じく、薩摩に由来するやきものなのだろう。薩摩焼をその程度にしか認識してなかった自分が恥ずかしくなりました。映画を観終えた後は、薩摩焼の白色がより一層深く感じられました。—とに〜 (アートテラー)

十五代 沈壽官 十五代 坂倉新兵衛 十二代 渡仁 ほか  
語り：小林薫

監督：松倉大夏 / 企画・プロデュース：李鳳宇

撮影：辻智彦、加藤孝信 / 録音：菅沼韓馳郎、藤田秀成 / 編集：平野一樹 / 編集助手：七宝治輝

アニメーション：小川泉 / 音楽：李東峻 / 整音：吉方淳二 / カラーグレーディング：楳謙太 / 宣伝美術：李潤希 / プロデューサー：長岐真裕

特別協賛：株式会社フエドラ、Asia Society Japan Center、大韓航空、財団法人李熙健韓日交流財団 / 助成：文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業

企画・製作・提供：スモモ 配給：マンシーズエンターテインメント 2023年 / 日本 / 日本語・韓国語 / 117分 / 5.1ch / カラー / DCP ©2023 sumomo inc. All Rights Reserved.

sumomo-inc.com/chawanya X@sumomo\_Inc @sumomo.inc\_official f@sumomo.movie



2025年1月17日(金)より公開

協力：鹿児島県日韓親善協会

後援：日置市・日置市教育委員会・鹿児島市・鹿児島市教育委員会

南日本新聞社・NHK鹿児島放送局・MBC南日本放送・KYT鹿児島読売テレビ

KKK鹿児島放送・KTS鹿児島テレビ・鹿児島商工会議所



TENPARA  
天文館シネマパラダイス

099-216-8833

tenpara.com